



Asian Productivity Organization “The APO in the News”

Name of publication: Seisansei Shimbun (5 April, 2015, Japan)

Page: 4

グローバルインタナショナルシッププログラム

第4期がスタート

日本生産性本部は、手・中堅層を中心に、戦略的、計画的に海外に派遣し、育成しているが、同本部で

将来のグローバルリーダー候補者がアジア諸国でビジネス体験と現地生活を実体験する研修である「グローバルインタナショナルシッププログラム」The Global Leadership Practice Program in Asia (GLPPA)の第4期をスタートさせた。

日本企業のグローバル化の進展に伴い、グローバル人材の育成が急務となっており、若

手・中堅層を中心に、戦略的、計画的に海外に派遣し、育成しているが、同本部で

グローバルインタナショナルシッププログラムは、アジア諸国のNP

Oでも取引先でも日系企業でもない「現地企業」においてビジネス体験と現地生活を実体験するGLPPAを開発した。

GLPPAでは、企業の派遣ニーズに合わせた1カ月、3カ月、6カ月の三つのインタナショナルシップ期間を用意

しており、アジア諸国において、リアルなビジネス体験と現地生活を体験することができ

る。

出発前の国内プログラムでは、3回にわけて、文化や価値観の違いに対応する異文化理解に基づくコミュニケーションスキルや、多様な価値観に柔軟に対応し、自分の考えをわかりやすく発信するネゴシエーションスキル、酒樽や、現地専門家との討議、赴任経験者を開んでの討議、グローバル経営の考え方の理解などを

3月18日に東京・渋谷の日本生産性本部で開かれた第2回会合では、今回の派遣先であるインド、シンガポール、ベトナムの現地専門家として、アジア生産性機構(APO)から3人が招かれ、参加者と議論した(1写真)。

現地受入企業・組織との「スカイミーティング」やインタナショナルシップ経験者との討議なども実施された。

今回の参加者は5月にはインド、シンガポール、ベトナムに派遣される。第5期のGLPPAは7月にスタートする。

